

モニタリング結果報告書

施設 津久井やまゆり園
 指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会
 施設所管課 神奈川県保健福祉局障害福祉サービス課

(平成 22 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考（確認事項等）
4月	5月 7日	月報により利用状況、職員配置状況を確認。
5月	6月 5日	
6月	7月 6日	
7月	8月 12日	
8月	9月 16日	
9月	10月 8日	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- 強度行動障害対策生活支援事業の実施
- 生活支援の充実と強化
- 地域生活移行支援の推進
- 医療的ケア支援事業の実施
- 障害者地域余暇活動支援事業の実施
- 地域交流等支援事業の実施
- 地域防災ネットワーク推進事業の実施
- 拠点施設機能育成事業の実施

<実施状況>

- 在宅で生活する強度行動障害児者支援の充実を図るため、ケースワーカーと担当職員が津久井養護学校や近隣の特別支援級を訪問し、相談やケース等の情報交換を実施した。
- 利用者の生活支援の充実と強化を図るため、担当職員、日中活動班職員、心理職員が定期的にカンファレンス等を実施し、利用者が落ち着いて生活できるよう支援体制の見直しに取り組んだ。
- 地域生活移行支援を推進するため、平成23年度中に設立予定のケアホームについて、土地の選考等を行った。
- 地域の作業所等を訪問し、有資格者の看護師等による救命講習研修「すこやかサービス」を9回実施し、132名が受講した。
- 地域で生活する在宅障害児者を対象とした「ワクワクサークル」を4回実施し、49名が参加した。また、当園近隣に居住する障害児者及びその家族等に創作活動を楽しんでいただくため「わいわい創作活動」を1回実施し、123名が参加した。
- 「地域コンサート」を2回開催し、323名（地元千木良小学校生徒・近隣住民等）が参加し交流を深めた。また、地元千木良小学校と交流を図るため、地区清掃「交流美化デー」を1回実施し、児童25名が参加した。
- 相模原市及び地元自治会と防災に係る協力体制について協議した。
- 認知障害や適応障害の為の支援方法、及び自立支援法について近隣施設・地域作業所等に対して研修会「寺子屋」を2回実施し、24名が参加した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	1,317,332	604,471	685,500	27,361	1,303,264	14,068
上半期計 (a)	672,091	299,641	363,257 (360,731)	9,193	573,498	98,593
下半期計 (b)			()			
4月	104,980	40,742	62,653 (60,612)	1,585	82,408	22,572
5月	100,618	40,742	58,397 (57,306)	1,479	83,907	16,711
6月	161,147	95,931	63,610 (62,920)	1,606	145,711	15,436
7月	103,076	40,742	60,800 (65,244)	1,534	98,202	4,874
8月	102,720	40,742	60,445 (58,391)	1,533	86,879	15,841
9月	99,550	40,742	57,352 (56,258)	1,456	76,391	23,159
合計 (a+b)	672,091	299,641	363,257 (360,731)	9,193	573,498	98,593

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・収入については生活介護及び短期入所の利用者が増員したため増収となり、前年度を上回る収入額を確保した。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	車両（バン）	2,942
	車両（マイクロバス）	5,779
積立等の状況		(期首) 65,000
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	827 人	871 人	△5.1%
下半期計 (b)	人	人	%
4 月	137 人	146 人	△6.2%
5 月	138 人	148 人	△6.8%
6 月	139 人	148 人	△6.1%
7 月	136 人	150 人	△9.3%
8 月	139 人	140 人	△0.7%
9 月	138 人	139 人	△0.7%
合計 (a+b)	827 人	871 人	△5.1%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

- ・ 施設に入所されている利用者数は減少したが、生活介護及び短期入所を利用された利用者数が増加した。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4 月						
5 月						
6 月						
7 月	1					1
8 月	2		1			3
9 月		1				1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者によって評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
職員対応	・ 家族より、バス旅行の際、そばの座席に座っていた他利用者に2回腕を叩かれ痛い思いをした。また、バスの座席ももっと前に座りたかった。	・ 謝罪を行うとともに、座席については次回より配慮をすることを約束する。家族に怪我はなく納得していただく。今後の座席や見守り体制について、職員間で検討を行う。
事業内容	・	
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
	重大な事故等は発生せず

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

平成22年度上半期についてはモニタリングの実施は無かった。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

- ① 地域サービス事業については、記載の通り積極的に地域に対して実践することができた。地域との連携や信頼回復の醸成につながりつつあるので、今後も更に充実を図りたい。
- ② 在宅の知的障害者等に対して、創作活動又は生産活動の機会の提供、地域社会との交流の促進等の便宜を提供することにより、重度障害者等の地域生活支援を図った。
- ③ 平成23年度中に設立を目指している新規生活介護事業所及び児童デイサービスに係る準備も並行して進めた。

施設所管課

重度障害者、在宅で暮らす障害児者及びその家族等に対する交流活動等を積極的に行い、地域生活を支える取組みは評価できる。
 重度障害者等の安定した地域生活を支える支援の実践、支援技術の研修、講師として研修会に協力するなど、地域福祉の中核的な役割を引き続き果たすとともに、今後は引き続き、加齢児や重度重複障害者等を、積極的に受け入れ、専門的な支援技術を生かして障害者の地域生活を支える役割を果たしてほしい。